



検討せよ”福祉バスの運行“

二宮 元 議員

問 交通弱者（高齢者と子供）対策をどう進めるかについてお伺い致します。健康に恵まれぬお年寄りや子を持つ親のほとんどは人家から遠い県道を走るバス運行を望んではいないのであります。福祉バスを走らせ市道の人家近くまで往復し体に無理のない病院通いや買い物出来る交通弱者への配慮を切に望んでいるのであります。今西予市には11の診療所がありますが福祉バスが運行すれば医師、医療技術、施設の整った市立病院通いを望まれると思うのであります。体を治すための病院通いが無理をして悪くなるような市政は行ってはならないと思います。合併して8ヶ月、始まったばかりではあります不安ばかりだと市民は嘆いております。市長は所信表明の中で地域の

すみずみまで光の届く心の通う市政づくりをと言言されております。この際地域の市民から福祉バスのお陰で心も体も元気になる幸せな生活を送れるようになったと云う感謝の声が響くよう交通弱者のための福祉バスの実現を是非望む者であります。市長の考えをお伺い致します。

市長 市民、特に高齢者等弱者に対する交通網の体制作りにつきましては今後共、平均寿命の延伸で増加する事を考慮致しますと大変重要な課題であります。ご質問頂きましたように人家の近くまで福祉バスを往復し市民が満足出来る体制は交通弱者にとって大切な事であると認識しております。西予市としては中長期的な計画のものと関係公共機関と連携し交通網の整備体系を実施



野村町中山間に福祉バスを

して参りたいと考えております。ご指摘にありましたように高齢者の方々の通院や買い物などの運行や各地区にあります観

光施設や浴場、来年度に完成予定の城川保養施設への運行も利用者にとって福祉バスは必要であると考えております。各施設への運行については利用者の利便性を図るため多くの人に喜んで頂けるよう地域と一体となり公共、民間も視野にいれながら取り組む必要があります。各位のご理解をお願い致します。

先進医療を生かせる社会に

浅野 豊重 議員

現時点で対応は困難



問 人命は地球より重しの言葉があるが、近年の自殺者の増加は実に交通事故死の4.5倍に達している。

中でも自ら不治の病と思いきみ、命を断つ者も多いが、医学の進歩により、不治の病は殆ど無いと思われる。

最近の報道で、高度先進医療の一つ、ラジオ波

焼灼療法を見聞した。この治療法は、患部に針を刺して、ラジオ波電流で、がん細胞を死滅させる療法で、患者の負担が少なく、革命的な治療方法だと言われている。これらの先進医療には現在保険の適用がなく患者の負担が大きい。先進医療を受けたくても、受けられず、保険医療を余儀なくされ、助かる道がないながら、助けられない現状を打破し、先進医療が等しく受けられる社会にしたい。

市として全ての医療に保険が適用されるよう国に働きかけをしながら、それに至るまでは、市単独で支援すべきと考える。当然ですが、生活週間病予防の集団受診意識の高揚、人間ドックの推奨支援、あらゆる予防の啓発指導を要望する。市長の考えを伺いたい。

福祉部長 ラジオ波焼灼療法は手術以外の治療法として注目されている。東大医学部の医師は、直系3cmまでの肝がんならば3個以内、単発では5cmまで、肝機能がよい場合はこれを超えても治

財産難・市長の公約実現可能か

山本 英男 議員

公約の実現は財政に左右されない

以上の意見・提言等については、今後内容を精査しながら、「総合計画」及びまちづくりの政策に反映・浸透させるよう努めて参ります。

市政懇談会の成果は

問 市長のいう「夢のあるまちづくり」「市の隅々まで配慮していく行政」等の考えが現下の財政状況で本当に実現可

能なのかどうか。また、来年度予算は今年度比マインス4%の方針といわれるが、どのようにメリハリをつけた予算編成となるのか、現段階での考えを伺いたい。

市長 予算の大小や逼迫財政等の理由で「夢のあるまちづくり」や隅々まで配慮していく行政が変わるものとは思わない。限られた財源の中で、どのような施策を

方向づけ、展開し得るか市民に夢を与えることができるのか、旧5町の平準化が保てるのか等々、多面的に研究・検討を重ね、実践していくことがリーダーの責務であると考えています。また来年度予算については財政の健全性を大原則とし、市民が納得する予算編成をめざしたい。そのために従来の手法・発想からの脱却をはかつていく考えであります。

問 市の公共土木工事入札に際して、入札参加の資格要件、指名基準、指名方法等について、さらにそれらに関して市財務規則以外に成文規程があるのか、併せて伺いたい。

建設部長 西予市財務規則の事請負業者選定要領並びに西予市発注の工事請負契約に関する指名基準と同運用基準が定められており、それらに基づき、審査選定を行っています。加えて建設業法の経営事項審査で格付を受けておくことが前提であります。



問 市政懇談会やまちづくりの「ご意見・アイデア募集」において、市民からの良い提言があれば、紹介いただくとともに、それらへの今後の対応を伺いたい。

総務部長 市政懇談会では全体的な提言として、◎公共交通機関の利便性の向上◎小規模多機能介護施設の整備◎高度情報通信網の整備◎農水産物の加工施設の整備等の意見をいただいた。

また「まちづくりの意見・アイデア・キャッチフレーズ募集」では子供達の夢や希望をはじめ、行政各般にわたる要望・提案をいただいた。一部列挙する。◎市立病院の改善・建設◎ボランティアによる介護の充実◎若者定住と雇用の場確保◎健全な行政運営◎構造改革特区認定による地域再生等々である。



三瓶町で行われた市政懇談会



研修で学ぶ高度先進医療

療できると言っている。入院期間も約2週間と手術や他の治療法より大幅に短い。ラジオ波治療は高度先進医療で、特定療養費制度として認められ、特定療養費とは、先端医療について、一般の病気同様に診察、審査、入院に係る費用は保険給付とし、高度先進医療は、保険対象外としているが、例外的に「高度先進医療」に該当する部分についてはみ保険診療の中に自由診療

療を組み込むことが認められている。費用については、岡山大学の例、特定療養費が37万円であるとの事であります。全ての保険適用については、中央社会保険医療協会の審議に期待したい。市単独支援については高度先進医療の技術数は約70あると言われており、現時点では難しい状況であります。生活習慣病予防は最善を尽くしたいと考えています。